

きよなん 議会だより



令和5年 2月 6日

第145号

〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458
TEL0470-55-4804

発行／鋸南町議会
編集／議会広報特別委員会



令和5年出初式 一斉放水

「放水始め！」

町ホームページにも本誌を掲載しています
カラーでより鮮明な画像をご覧になれます



はやわかり

- 令和4年12月定例会・・・2
- 令和4年10月臨時会・・・3
- 4議員が町政を問う・・・5

予算は 55億円

による電気料金の増額補正など

補正予算

一般会計補正予算

1億2878万7千円を追加し、総額54億9845万1千円にしよ
うとするもの。

〈主な歳出補正〉

- ◆ 庁舎1階空調機器改修工事・監理業務委託 3437万8千円
- ◆ 燃料費高騰による電気料金増額 1713万1千円
- ◆ 千葉県人事委員会の勧告等に伴う人件費の増額 1080万4千円
- ◆ 印刷機の更新 102万5千円
- ◆ 千葉県議会議員選挙の準備経費 288万円
- ◆ 障害福祉サービス費 3095万円
- ◆ 障害者医療費国庫負担金返還金 339万2千円
- ◆ 障害者自立支援給付費等国庫負担金返還金 726万6千円

令和4年12月第7回定例会は、会期を12月13日から16日までの4日間で審議を行った。
今定例会には、個人情報の保護に関する法律施行条例の制定、議員と町長の選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正及び1億2878万円の一般会計補正予算を含む28議案が上程され原案どおり可決した。
また、一般質問には4議員が、質問席に立った。

〈主な歳入補正〉

- ◆ 経営所得安定対策等推進事業費交付金 176万8千円
- ◆ 不動産登記申請等業務委託 200万円
- ◆ 橋梁補修工事 400万円
- ◆ 消防施設修繕料 101万2千円
- ◆ 海洋センタープール暖房設備改修設計業務委託 145万2千円
- ◆ 学校給食センター設備改修工事・減額 ▲152万1千円
- ◆ 経営所得安定対策等推進事業費交付金 176万7千円
- ◆ 財政調整基金繰入金 1億479万1千円
- ◆ 市町村振興宝くじ交付金 504万6千円
- ◆ 訪問看護療養費・減額 ▲146万8千円

【令和4年12月補正予算】

	補正額	補正後の額
一般会計	1億2878万7千円	54億9845万1千円
国民健康保険特別会計	1億3275万4千円	11億5440万2千円
後期高齢者医療特別会計	48万7千円	1億5041万0千円
介護保険特別会計	▲385万8千円	15億1315万2千円
鋸南病院事業会計	160万0千円	1263万7千円
水道事業会計	325万3千円	4億6015万3千円

※病院事業会計については資本的支出、水道事業会計については収益的支出の額。

主な特別会計補正予算

- ・国民健康保険特別会計
一般被保険者療養給付費、一般被保険者高額療養費の増額。
- ・介護保険特別会計
職員の異動による人件費の減額。
- ・水道事業会計
職員給与費の改定、原油価格の高騰に伴う燃料費、水道施設動力費の増額、水質検査委託に係る債務負担行為の設定。

補正後の一般会計

庁舎空調機器の改修、燃料費高騰

質 疑

◆ 鋸南町個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定

問 個人情報保護法が改正となったが、町民の個人情報の保護には問題がないのか。

答 個人情報保護の保護を目的とした条例であり、町は個人情報の公開を予定していません。

問 開示請求手数料は無料とのことだが、開示請求が多いと役場の業務が煩雑にならないか。

答 令和4年中の請求は皆無です。請求が多くなった時点で検討します。

◆ 鋸南町議会議員及び鋸南町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正

問 公費負担の増額幅は、どのような基準で決められたのか。

答 物価変動に基づくものではなく、国の法改正に沿って決められています。

◆ 一般職の職員の給与等に関する条例の改正

問 職員の若年層の給与引き上げにより、勤続給の逆転はないか。

答 現状そのような事態はありません。

◆ 鋸南町病院事業の設置等に関する条例の改正

整形外科を追加

◆ 指定管理者の指定（鋸南町国民健康保険鋸南病院）

医療法人財団鋸南きさらぎ会

（令和5年4月1日～令和10年3月31日）

◆ 指定管理者の指定（鋸南町デイサービスセンター）

社会福祉法人鋸南町社会福祉協議会

（令和5年4月1日～令和10年3月31日）

10月臨時会

10月臨時会は、10月21日、会期を1日として開催し、物価の高騰に伴い、国の住民税非課税世帯に対する緊急支援金5万円や、中小事業者への追加支援、畜産事業者への支援、地域商品券の増額などを盛り込んだ1億2323万5千円を追加した一般会計補正予算第3号で、質疑と意見（1件）の後、全員賛成で可決した。

質 疑

問 住民税非課税世帯（約1200世帯）毎に5万円の給付を行うとのことだが、金額が大きい分、支援の対象・非対象かにより、不公平が生じないか。住民税非課税世帯は主に年金受給世帯だが、経済的支援を必要とするのは必ずしも年金受給世帯ではない。

答 国の支援制度に沿った施策です。新たに地域商品券を全町民に一律配布しますので、非対象世帯への支援も行っています。

【10月臨時会の議決結果】

※議長は採決に加わりません。

	平島	笹生（正）	鈴木議長	小藤田	渡邊	笹生（久）	青木	大塚	竹田	早川	笹生（あ）
一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○

令和4年第7回定例会 議 決 結 果

賛成「○」 反対「×」 ※議長は採決に加わりません

番号	件名 (件名は一部省略)		平島孝一郎	笹生正己	欠員	鈴木辰也議長	小藤田一幸	渡邊信廣	笹生久男	青木悦子	大塚昇	竹田和明	早川正也	笹生あすか
----	-----------------	--	-------	------	----	--------	-------	------	------	------	-----	------	------	-------

< 条例の制定・改正・廃止 >

議案第1号	個人情報保護法施行条例の制定	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	×
議案第2号	情報公開・個人情報保護審査会条例の制定	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第3号	議員、町長の選挙運動の公費負担条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第4号	一般職の任期付職員の採用等の条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第5号	人事行政の運営状況の公表の条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第6号	職員の定年等に関する条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第7号	職員の懲戒手続、効果に関する条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第8号	職員の降給の事由、手続効果の条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第9号	職員の公益的法人への派遣条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第10号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第11号	職員の育児休業等に関する条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第12号	会計年度任用職員（パートタイム）の報酬等の条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第13号	特別職の職員の給与、旅費の条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第14号	一般職の職員の給与等に関する条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第15号	同上（定年延長分）	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第16号	会計年度任用職員（フルタイム）の給与条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第17号	保健福祉総合センターの設置等に関する条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第18号	企業職員の給与の種類、基準の条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第19号	病院事業の設置等に関する条例の改正	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第20号	職員の再任用条例の廃止	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第21号	指定管理者の指定について（鋸南病院）	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第22号	同上（デイサービスセンター）	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○

< 令和4年度12月補正予算 >

議案第23号	一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第24号	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第25号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第26号	介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第27号	鋸南病院事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○
議案第28号	水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○		—	○	○	欠	○	○	○	○	○

ここが聞きたい いっぱん質問



渡邊信廣議員

人口減少に対するまちづくりについて



早川正也議員

- ① 都市交流施設・道の駅保田小学校について
- ② AEDについて

4 議員が町政を問う！

動画はこちら↓



笹生あすか議員

- ① 子ども・子育て支援について
- ② 災害対策について

竹田和明議員

町政報告会について



一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長に対し施政方針や事務の執行状況を聞き、疑問点を質(ただ)すものです。紙面の都合上概要を掲載しています。

問 広域的取り組みによる通勤圏拡大を

答 独自で課題解決に向け検討します



渡邊 信廣 議員

当町は都心に近く、自然環境や温暖な気候・魅力的な観光資源に恵まれている。一方、既に人口は7千人を割込み、人口減少率は3年連続県下最大だ。台風被害の影響もあり、高齢化比率は49%に達し、高齢者人口は既に生産人口を400人ほど上回っている。さらに昨年度の出生数はわずか11人で、小中学校の大半が単学級だ。地方創生の始まった時に消滅自治体896の中に位置づけられた当町だが改善がみられない。

人口減少下でのまちづくりについて

問 空家の多い(312戸)当町だが、人口減少対策としてお話し居住は最も効果的と言われている。適した空家がないとのことだが、町の拠点である保田小の宿泊棟を活用すべきではないか。

答 平日の閑散期などを利用して、お話し居住のメニューを提供するなど、今後、指定管理者と協議し、可能であればチャレンジしたいと思います。

問 移住定住者を増やすために、年間60万人の観光客が

訪れる道の駅保田小の「まちのコンシェルジュ」をもっと活用するべきではないか。

答 移住定住相談は他分野の行政知識を求められる場合も多いため、町の担当者が引き継ぐ体制をとっています。今後とも保田小と役割分担を行いながら、業務推進を図っていく考えです。

問 人口減少を抑えるまちづくりに、人件費の抑制も考慮し外部のシンクタンクの専門的知見を利用できないか。

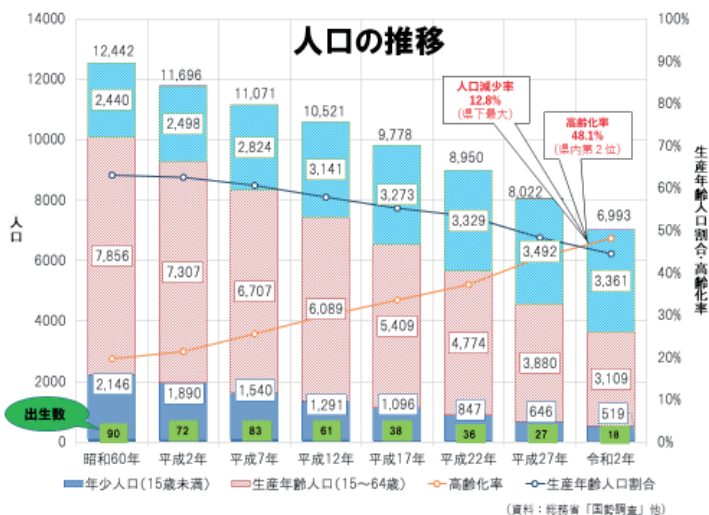
答 シンクタンクの利用は、業者の選定や費用面で課題があります。国などの財政的支援が受けられる制度を利用した外部人材の登用を検討しています。

問 移住定住を推進する上で、雇用の少ない安房地域の通勤圏拡大を図るため、高速バスの君津駅への乗り入れ(実証実験含む)を広域的取り組みによって実現できないか。

答 安房地域では当町が一番都心に近いことから、広域的取り組みではなく、むしろ町独自に実施すべき課題として検討します。



首都圏へのハブとなり得る、君津駅前
のバスターミナルの様子



要望 「小さくともキラリと光るまち」づくりは、町にとっても議会にとっても共通の目標だ。今後の取り組みに期待する。



早川 正也 議員

問 きよなん楽市のインボイス対応は

答 出荷取引の中止はありません

**都市交流施設・道の駅
保田小学校について**

問 自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、道の駅の従業員の離職が増加しているようだが、現在の従業員数は適正か。

答 令和4年、直近の従業員数は42名で不足数は8名と聞いています。

問 町は従業員の確保に向け従業員へのヒアリング、広報など行っているか。

答 従業員の管理は基本、指定管理者にお願いしています。毎朝の朝礼の他、社員には月1回のミーティングを行い、パート従業員には契約更新時に面接を行っているとのこと。町としては、一層の雇用拡大に向け募集広報の支援を行ってまいります。

問 インボイス制度の導入により、きよなん楽市に出荷している小規模事業者への影響は。

答 直売所関係者相互で協議を重ねて、引き続き安心して出荷できる環境を整えてまいります。

要望 直売所に出荷している小規模事業者は、保田小での販売のみの方が多いため、販路の確保ができるように最善を尽くして下さい。

問 周辺整備事業、拡張工事について、物価の高騰や社会情勢の影響により工事の遅れや変更はあるか。

答 基本設計から実施設計に至る間で機能を大きく変えたものはありません。遊具などの設置については予算の面から見合せたものがあります。工事の進捗率は約20%であり今後の進捗によっては工期の延長も考えられますが、現状では工期内の完成を目指しています。

問 高速バスの乗り入れについて詳細は決まったか。

答 現在計画中の館山〜東京、鴨川〜東京方面の他に千葉、羽田、横浜方面の乗り入れを要請していますが、利用者の動向予測が難しく、開業までに詳細を詰めます。

AEDについて

問 AED（自動体外式除細動器）は町内のどこに設置され、管理はどうなっているか。

答 町内25ヶ所に設置されています。設置場所については日本救急医療財団等がインターネットなどで公表しています。町では今後町報等で設置場所、利用可能時間等を周知できるよう考えています。

問 公共施設の閉館時はAEDを取り出せないのか、小窓や破壊工具の設置等を行い緊急時に取り出せるようできないか。

答 盗難や直射日光によって使用できなくなる可能性があるなど問題がありますが、メーカーに確認するなど先進事例を参考に検討が必要であると思います。

問 町内などイベント時に携帯用のAEDを設置するべきと考えるがどうか。

答 マラソン記録会等、一部の町主催事業では保健師が携帯しています。観光イベント等では状況に応じて今後検討します。



AED

(自動体外式除細動器)

問 18歳までの医療費無料化を

答 財政状況等を勘案しながら検討します

笹生 あすか 議員



子ども・子育て支援について

問

令和3年度に子育て世代包括支援センターが開設され子育て世代がワンストップで相談できる体制ができたが、現状は。

答

妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない支援の提供を目的として、すこやか内に子育て世代包括支援センターを設け、母子支援事業を実施しています。保健師、看護師を主として体制を整え、本年度から複数体制で母子手帳交付や乳児家庭訪問等を行い、相談体制は教育課と連携をとりながら対応しています。

問

県内では君津市が導入している乳児を対象とした支援である、紙おむつや粉ミルクなどの無料宅配事業を導入する必要があると考えるが、どうか。

答

まずはニーズの把握が必要と考えます。現在は案として、補助金を活用し、乳児訪問の際に、育児指導物品として提供できるように検討しています。

問

給食食材の地産地消化が必要だと考えるが、どうか。

答

学校給食センターでは「米飯給食・地産地消の推進」を重点項目として取り組んでおり、牛乳、米は年間を通じて地元産を使用しています。菜花、みかん、スズキ（鮮魚）なども生産者から買い上げ活用しています。地元食材の活用は積極的に取り組んでいきたいと考えています。

問

18歳までの医療費の窓口負担を無料にする必要があると考えるが、どうか。また18歳まで拡大した場合、対象者はどのくらい増えるか。

答

現在は中学3年生までの外来、入院ともに住民税課税世帯は1受診につき300円、住民税非課税世帯は窓口負担無料となっています。18歳までの範囲の拡大については、国や県、近隣市の動向や財政状況を勘案しながら、検討します。対象者は125名ほど増えます。

意見

南房総市で来年度の当初予算に上程予定と聞く。東京都も令和5年から高校生までの医療費助成制度が始まり、全国で拡大している。ぜひ鋸南町も。

災害対策について

問

防災対策監が採用され防災・減災に関する情報発信等、災害に強いまちづくりへの取り組みが以前よりも進んでいると感じる。要支援者名簿の、更新等の管理や現状は。

答

要支援者名簿は毎年度、年度当初に作成し、同意を得られた分を各区長等に配布しています。保管管理は、個人情報のため厳正に管理していると認識しています。一部の区では自主防災組織と共有を図り活用しているようですが、課題もあるため、役に立つ情報としての名簿の作成、管理運用を図っていききたいと考えています。



総合防災訓練の様子



竹田 和明 議員

問 町政報告会の総括は

答 参加者には真剣に聞いてもらえた



町政報告会の様子

町政報告会の総括は

問 町が行った町政報告会は町の説明責任という点で重要だが、その総括はどのように行ったか。

答 参加者は皆真剣に報告を聞いていただけたものと総括しています。8月から11月まで計23回開催、一般の参加者は計343名、ご質問等が119件でした。午後7時から90分の予定で開催し、そのうち70分を説明にあてました。

要望 全体として、資料や町長の説明はよく準備されていたが、終始町からの一方的な説明だったと感じた。町民の声を町政に反映するための貴重な機会でもある。参加者が理解し易いよう、印刷した資料の配布は絶対必要だと思う。次回改善を期待する。

報告内容への質問

「人口減少対策」関連の質問

問 各分野で地域おこし協力隊の成果が報告されているが、役場から隊員への業務指示、情報提供等、マネジメントはどのように行っているか。

答 採用時に本人から提出された活動目標計画に照らし、管理を行っています。

要望 隊員が孤立しないよう、情報提供や相談に応じるなど隊員への支援をお願いしたい。

問 定住促進策として1件100万円など高額な助成を行っているが、本町の人口は毎年約200人減少しており、それを止める施策になっているのか疑問だ。要件等の見直しが必要ではないか。

答 国の制度であり、町側で要件の見直しは出来ない状況です。

意見 高額な助成は財源不足となることが明白で、人口減少を止めるという目的に合っていない。「人口が減っても存続し続けられるまちづくり」といった視点も重要ではないか。

問 空き家バンクの「農地付空家」制度は、農家でなくとも100㎡以上の農地付物件の購入が可能だ。実績はどうか。

答 売買の仲介の実績が3件です。

要望 空き家と休耕地、両方の対策となる画期的な制度だ。今後さらに面積要件を引き下げ、適用範囲を拡大してもらいたい。

問 域学連携で委託している研究は、二拠点居住可能性提案、遊休農地の活用提案、新モビリティによる交通整備などが、その成果はどうなっているか。

答 今後町が行う事業の参考にしていこう方針です。

意見 研究成果は町民のものであり、町民がアクセスできるようにするべきだ。

問 「庁外DXの推進」に関してどのような計画、取り組みを行っているのか。

答 マイナンバーカードの普及・促進です。

意見 町民はマイナンバーカードを取得しても、そのメリットは限られている。DXで町民が利便性を実感できるまちづくりを期待する。

鋸南小での冬のお楽しみ会

子ども会育成連盟・青少年相談員による冬のお楽しみ会が開催されました

こども達の笑顔のためにと
寒い中お芋を焼いてくれました



青少年相談員の皆さん



わたしのお芋が
いちばんおいしい!!



ジュニアリーダーによるレクリエーションの様子

議会の日誌

10月17日 議員全員協議会
議会運営委員会
10月21日 第6回臨時会
10月25日 安房広域議会定例会及び
議員全員協議会
11月24日 議員全員協議会
12月6日 議会運営委員会

12月13日 第7回定例会開会
12月16日 第7回定例会閉会
12月22日 環境衛生組合定例会
12月23日 安房広域議会臨時会及び
議員全員協議会
1月6日 議会広報特別委員会
1月13日 議会広報特別委員会協議会

編集後記

新型コロナウイルスの感染が長く続き、拡大が心配される状況ですが、一部行動制限が緩和されるなど、少しずつ以前の生活が戻っているように思います。

裏表紙の写真は子ども会育成連盟と、青少年相談員の共催で行われた、冬のお楽しみ会での一コマです。以前は餅つきをしていたそうですが、感染の拡大を考え焼き芋を行ったとのことです。子どもたちの笑顔が戻り大変楽しかったです。

鋸南町の未来を担う子どもたちのために、議会でも健全育成の協議を重ねてまいります。
令和5年卯年の新年を迎え飛躍の年となるよう期待しつつ、皆様にとってより良き年になるようご祈念申し上げます。

(早川 正也)